

謹賀新年



牧之原市議会議員

小杉 康男



牧之原市長

西原 茂樹

新年明けましておめでと
 ございます。
 市民の皆さまには、健やか
 に新年をお迎えのこととお慶
 び申し上げます。
 日ごろは市議会に温かいご
 声援とご指導を賜り、厚くお
 礼申し上げます。
 さて、昨年の未曾有の東日
 本大震災と福島第一原子力発
 電所の原発災害は、東北地方
 だけでなく、日本全体に大き
 な打撃を与えました。
 わが牧之原市も、中部電力
 浜岡原子力発電所の原子力行
 政から目が離せません。
 本市においては、平成23年
 9月16日の議会において「ま
 ず、第一に市民の生命・財産
 を守っていくことを考え、近
 い将来間違いなく起こるだろ
 うといわれている東海地震を
 想定し、その震源域真上に立
 地している浜岡原子力発電所
 の確実な安心・安全が将来に
 わたり担保されない限り、永
 久停止すべき」との決議をし
 たところであります。
 牧之原市が誕生して、はや
 7年目を迎えました。
 財政面では、今回の災害を
 契機に企業のリスク分散が叫

ばれる中、大手企業の生産部
 門移転が行われようとしてい
 ます。そうなれば税収は減り、
 並びに雇用も減ります。新た
 な企業誘致はままならず、課
 題は山積し、厳しい状況です。
 市長はじめ執行部全職員と
 議会が一体となり、取り組ま
 なければならぬ厳しい時代
 となっております。
 私も昨年11月に牧之原市議
 会議長に就任いたしました。
 市民の皆さま方に議会活動を
 今まで以上にご理解いただき
 ためにも、議会基本条例や会
 議規則などに沿って、情報を
 全議員が共有できるように、
 協議会の開催方法などの議会
 改革にも取り組んでまいりま
 す。
 また、議会本来の役割であ
 る行政チェックに視点を置き、
 議会の立場で市民の意見を行
 政に反映し、積極的に政策提
 言に取り組んでいきます。
 本年も市議会に対しまし
 て、市民の皆さまのますます
 のご理解とご協力をお願い
 するとともに、皆さま方のご
 健康とご多幸をお祈りいた
 しまして、新年のご挨拶とい
 たします。

市民の皆さま、明けまして
 おめでとございます。
 健やかに、輝かしい平成24
 年の新春をお迎えのことと心
 からお慶び申し上げます。
 昨年の東日本大震災の発生
 から本年の3月で一年が経ち
 ますが、被災地は、復興どこ
 ろか復旧さえも目に見えた形
 では進んでいません。特に、
 事故を起こした福島第一原発
 のある福島県の住民は、一向
 に進まぬ除染や、いつ帰宅で
 きるか分からないいら立ち、
 放射能による現状への健康不
 安が重なり、いまだに三重苦
 四重苦の渦中にあります。
 福島県のみならず、原発事
 故により広まった放射能汚染
 物質は農水産物に蓄積し、食
 べ物を通じた内部被曝の恐怖
 を、生産者や消費者に与えて
 います。静岡県のお茶も大き
 な被害を受けました。農家も
 茶商も消費者も、全てが原発
 事故の被害者です。
 私たちは、たまたま事故が
 なかった約30年間、浜岡原発
 の恩恵・メリットだけを享受
 してきました。しかし、今回
 の事故によって、万が一のと
 きには自分の土地も財産も奪

われ、ふるさとを追われるこ
 とがあると知りました。そん
 なことは誰も想定していませ
 ん。浜岡原発の永久停止は、
 議会と共に確実なものとする
 べく努力し、安全・安心な地域
 の実現を目指してまいります。
 また、地震や津波などの災
 害に強いまちづくりは、行政
 だけではできません。自治基
 本条例の理念に基づき、市民
 と行政が一緒になって防災や
 減災に向けた取り組みを強化
 してまいります。
 さて、本市は製造品出荷額
 などの伸び率が県下一、農家
 当たりの農業生産額も県内3
 位と、工業も農業も頑張っ
 ています。さらに、富士山静岡
 空港の開港によって、韓国や
 中国との交流も始まりました。
 素晴らしい大茶園や美しい駿
 河湾を、観光産業という面でも
 大いに売り込んでいこうと
 計画しています。
 苦境を乗り越えていく先
 には「希望」があります。
 本年も市民や議会の皆さま
 と共に「幸福実現都市」に向
 かい全力で取り組んでまいり
 ますので、よろしくお願ひ申
 上げます。